

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成28年2月4日(2016.2.4)

【公開番号】特開2014-163974(P2014-163974A)

【公開日】平成26年9月8日(2014.9.8)

【年通号数】公開・登録公報2014-048

【出願番号】特願2013-32096(P2013-32096)

【国際特許分類】

G 0 3 B	21/14	(2006.01)
G 0 3 B	21/00	(2006.01)
F 2 1 S	2/00	(2016.01)
F 2 1 V	14/06	(2006.01)
H 0 4 N	5/74	(2006.01)
H 0 4 N	9/31	(2006.01)
F 2 1 Y	115/10	(2016.01)

【F I】

G 0 3 B	21/14	A
G 0 3 B	21/00	D
F 2 1 S	2/00	3 1 1
F 2 1 V	14/06	
H 0 4 N	5/74	A
H 0 4 N	9/31	Z
F 2 1 Y	101:02	

【手続補正書】

【提出日】平成27年12月14日(2015.12.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0029

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0029】

光拡散素子50Aは、平面視円形の基板51と、基板51の第1主面51a上に設けられた光拡散層52Aと、を有している。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0038

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0038】

このとき、光拡散素子50Aは、不図示のモーター59の駆動により回転軸58回りに回転する。そのため、光拡散層52Aにおける入射光Lの照射位置SPが周方向に時間的に変化し、入射光Lが拡散角の異なる複数の拡散領域53に次々と入射されることとなる。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0092

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0092】

レンズ層55は、入射光Lの入射方向を光拡散素子50Fの平面視方向として、光拡散層52Fと平面的に重なって設けられ、光拡散層52Fが有する複数の拡散領域と平面的に重なっている。レンズ層55は、基板51の光拡散層52Fが設けられた面とは反対側の面の全面に設けられることとしてもよく、入射光Lが入射する領域に選択的に設けられることとしてもよい。また、レンズ層55を構成する複数のレンズのそれについて、曲率は同じであってもよく、異なっていてもよい。